

杉劇 アート de 伝承 プロジェクト

2020 レポート

地域の知られざる歴史や魅力を掘り起こす!!

プログラムⅠ

調査・記録プログラム

プログラムⅡ

伝承プログラム

プログラムⅢ

地域文化普及プログラム

Chosa
kiroku



Jidai-geki



ro doku



gagaku



recorder's



sugigeki ☆ kagekidan



SUGIGEKI
ART DE DENSHO PROJECT
2020 REPORT

横浜市磯子区民文化センター

杉田劇場

(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 / 非営利活動法人チーム杉劇
有限会社アイコニクス / 株式会社ニックスサービス共同事業体)

助成：一般財団法人 地域創造

調査・記録プログラム

「地域の文化はいつから始まったの？」
 「地域のお宝発見！！」「こんな歴史があったんだね！」
 地域を愛する人たちが文化を未来へ紡いでいくプログラム。

いそご文化資源発掘隊

磯子区の歴史や文化を掘り起こす“いそご文化資源発掘隊”。今年度も昨年度に引き続き、調査・記録プログラムの一環として、調査から得た磯子区の人や歴史の情報を元に、まち歩きや講座を開催しました。

第49回 NTTのケーブルは歴史の生き証人

実施日：2020年11月13日 講師：吉澤幸治（洋光台に詳しい「街歩きの達人」） 参加者：24名
 日頃何気なく見る電柱には、その上部にケーブル名を示す小さなプレートがあります。中には不思議な名前のももあり、その地域の歴史を物語る内容が含まれていることもあります。昨年度の杉田周辺に引き続き、今年度は洋光台周辺を散策しながら、プレート名の謎を解いていきました。



第50回 講座『まち歩きが楽しくなる神社の話③』

実施日：2021年3月10日 講師：小沢朗（伝承プロジェクト調査員） 参加者：84名
 好評だった昨年度のお話に引き続き、磯子区内における神社の調査や研究をしている小沢朗調査員が、今後のまち歩きに活かせる神社の基礎知識を説明しました。今回は記念すべき50回目ということで、杉田劇場5階ホールでの開催となりました。講座に先立ち、昨年作成した映像『磯子の祭景』ダイジェスト版上映と、岡村磯子一友会によるお囃子が披露されました。



調査・記録

杉田劇場では3年を掛けて磯子区内の神社と祭りを調査してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、地域のお祭りが相次いで中止となってしまいました。しかし、昨年度のうちに行った区内15神社へのヒアリングを活かし、調査員と杉田劇場スタッフとの間で熟慮を重ねた結果、集大成として冊子を残すことになりました。それが今回発行の冊子『壱十五(いそご)の神社と祭り』です。
 昨年の『磯子の祭景』をさらにスケールアップし、100ページ超の読み応えある内容で磯子区内の神社の歴史とその背景を網羅したものです。今回は親しみやすい画風のイラストも取り入れ、より分かりやすさと専門性を両立した内容を目指したものです。
 こちらは昨年同様、地域の神社や公共施設に配布しました。

磯子文化 ガイドマップ6

今回は岡村・洋光台・上笹下地区の地域情報や、「第49回いそご文化資源発掘隊」で行った歴史を物語る電柱を巡る小さな旅の記録などを掲載しています。磯子区内を中心に配布中！



いそご文化 円卓会議

磯子区内の歴史や様々な情報、人を知る方々に、各事業のアドバイスをいただく作戦会議の場。
 ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

\\ 伝承プログラム //

区内の学校教育の中に、古典芸能をはじめ地域に根差した伝統的な芸能や文化を知る機会を取り入れてもらうプログラム。

杉劇アート体験塾

郷土の横浜が空襲に見舞われたこと、江戸時代の生活のこと、歴史のある日本の音楽のことなど、こどもたちに、時代が変わっても忘れてはならないこと、伝えていきたいことを、杉田劇場で体験してもらうプロジェクト。地域発の朗読劇、時代劇、邦楽(雅楽)を取り上げました。

vol.16 横浜夢座 朗読「真昼の夕焼け」

昭和20年5月29日の横浜大空襲で、大戦禍に見舞われた横浜…その日、当時中学生だった作者が見た横浜の市街地の悲惨な光景、その日の淡い出会いを朗読劇にしました。横浜出身の女優、五大路子さん率いる横浜夢座が、「こどもたちに戦争を知ってもらいたい」という熱い想いを伝えるため、磯子区内の小学生に向けて上演しました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、飛沫拡散防止を兼ねて使用した斜幕による斬新な演出で開催、ケーブルテレビや新聞各社でも採り上げられ話題となりました。

実施日：2020年7月7日／参加校：杉田小学校6年生(84名)



vol.17 劇団若獅子 ～時代劇を学ぼう～



「新国劇」の精神を受け継ぎ、真に格調ある大衆演劇の継承・保存・定着を目指し活動されている「劇団若獅子」の役者さんから、江戸時代の言葉づかいや所作、生活習慣などをわかりやすく解説してもらいました。現代でも使われている言葉があることを知り、殺陣を通じて命の大切さを学びました。また、『ういろう売り』の口上を述べる体験や、代表の笠原章さんの凄絶な『白土弁十郎』の語りを聴くことで、舞台と大衆演劇を生で感じるきっかけづくりを行いました。

実施日：2020年12月7日／参加校：洋光台第三小学校6年生(49名)

vol.18 邦楽を堪能しよう

磯子区在住の笙奏者・真鍋尚之さんとその仲間達による雅楽と舞楽を、本格的に設営した雅楽の舞台で、解説を交えながら上演しました。小学校の音楽の授業でも取り上げる「越天楽」の演奏や楽器の解説、楽器を持たずに児童全員が手足を使って演奏を体験するなど、日本の伝統芸能に触れる貴重な機会をつくりました。

実施日：2020年12月10日

参加校：洋光台第二小学校6年生(76名)、根岸小学校6年生(125名)



こどもたちの感想：劇場に来てみてどうでした？

Q1：今まで劇場に来たことはありますか？

はい 約99.7%
いいえ 約0.3%

Q2：生の音楽や劇を観てどんな気持ちになりましたか？

- 最初は「怖い…」と思ったが、予想もしないことが起こった戦争当時の人々は、なおさら怖くて、悲しかっただろう。
- 朗読では映像では分からない実際のことが分かり、とても胸がざわついた。
- 江戸時代の人々の気持ちを声で表しており、観ている人が「飽きない劇」で驚きました。
- テレビの劇を観ても「そんなにすごいのかな」と思ったけど、やっぱりテレビと生の差はすごいと思った。生の方が迫力がある。
- 私は今まで、外国の伝統の曲しかちゃんと聴いたことがなかったので、今回聴けたおかげで迫力を感じ、とても素晴らしいかったです。
- CDなどで聴くよりもインパクトがあり、とても感動した。

\\ 地域文化普及プログラム //

地域の歴史や人を、文化や芸術を通して伝えていく担い手育成プログラム。

公募による地元の小・中・高校生と大人たちによる

地域密着型エンターテインメント集団「杉劇☆歌劇団」は、

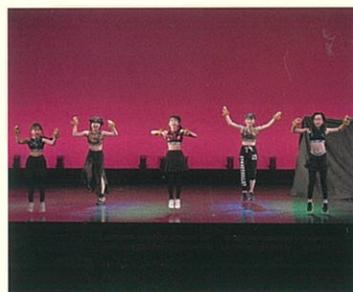
磯子区内の名所を舞台に映像作品『MY TOWN, MY PLACE』を作成しYouTubeにて公開、

2月の本公演ではその映像とのコラボレーションによる創作演劇を披露しました。



杉劇☆歌劇団 本公演

本公演での新作お芝居、今回は映像作品『MY TOWN, MY PLACE』から発展する形で書き下ろされた『うちへおいでよ!』。杉劇☆歌劇団のプロモーションビデオに感動した女子高生の「いさこ」は、やっと自分の居場所を見つけたと入団を希望して稽古場へ行くのだが、そこにいたのは個性の強い人たちばかり。ドタバタの稽古に、いつの間にかいさこも巻き込まれていく…。その他、小学生女子によるダンスユニット「杉劇カゲキ娘」、女子高生を中心としたパフォーマンスユニット「JK5」により大きく場を盛り上げました!



杉劇リコーダーず

2006年7月に杉田劇場で生まれた「世界中のおとなとこどものためのリコーダーアンサンブル」! 友達・兄弟・親子と一緒にリコーダーを楽しめるアンサンブルチームになりました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、密になることを避け、ホールのお客様を使って練習に励みました。昨年度の第9回定期演奏会は、コロナ禍で中止になりましたが、今回は十分に対策を取って、第10回定期演奏会は2021年2月28日(日)にホールの客席を舞台に見立てて使う「客席発表会」として無観客で開催することができました。メンバーはホールの響きを全身に浴びて、教会で演奏しているような気持ちになり、めったにないコンサート体験になりました。こちらは映像収録を行いましたので、YouTubeで公開します。



※本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「こども文化資源発掘隊」「歌声プロジェクト」「ロビーパフォーマンス」「杉田劇場冬まつりライブ」は中止となりました。

横浜市磯子区民文化センター

杉田劇場

[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/特定非営利活動法人チーム杉劇/有限会社アイコニクス/株式会社ニックスサービス共同事業体]

〒235-0033 横浜市磯子区杉田1-1-1(らびすた新杉田4階)

電話:045-771-1212 FAX:045-770-5656

Eメール:sugigeki@yaf.or.jp URL https://www.sugigeki.jp/